

竹取新聞

株式会社 カグヤ
東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング
2号館10階



第106版

理念と実践で
絆を結びます

平素より弊社の商品をご愛顧頂きましてありがとうございます。この新聞は、「子ども第一義」の理念のもとに活動しているカグヤクルーの日々の出来事・内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

無料メールマガジンも
配信中です

神家総本家
瓦版



こちらから登録いただけます
www.caguya.co.jp/
kawaraban/



環境を変えてみると、遊びと共に子どもたちの可能性がどんどん広がっていきます！

気づきを 共有し合える場

神奈川県横浜市にあります
滝ヶ谷保育園様は、約半年前
から『一分間スピーチ』に取り
組み始めました。「環境を
変えたら子どもの遊びが充実
し始め、それを制限していた
のは私たち保育士の方である
ことに気づいたんです。」と
いうある先生の声がきっかけ
となり、「その様な素敵な話
は皆で共有した方がいいよ
ね！」ということで実践を始
めたそうです。

話す内容は「何でもよし」
としているため、研修や園見
学で学んだことを話す人もい

れば、子どものエピソード、
その他にも個人的に出かけた
先で体験した出来事などを話
す人もいるそうです。目指す
保育との繋がりを感じながら
改めて振り返る機会があるこ
とは、保育の質の向上にも役
立っているのではないかと園
長先生は仰います。

『一分間スピーチ』の後は、
そのまま話が膨らみ小会議の
ようになることもあるそう
で、このように気づきを共有
し合える場は、いい人間関係
をつくる機会にもなっている
ように感じられました。

選べるということ

茨城県常総市にあります、
石下保育園様にお伺いしまし
た。以前から異年齢児保育は
行っていたものの、それまで
以上に「子どもの主体性を大
事にできるようにしていきたい
」という思いがあり、約3
年前から子どもたちが自ら活
動を選択していける環境をど
んどん増やしていったそうで
す。

園庭では乳児から以上児ま
でが、それぞれの発達や興味
関心にあわせて活動している
姿がありました。食事も現在
では、何時から何時までとい
う大きな枠がある中で、子ど
もたちが自ら「今日は誰と食
べようか」「どの時間に食
べようか」ということも選択
できるようになっていまし
た。

園庭もランチスペースも、
先生の声がとっても静かなの
は、先生が主導で動かずとも



子どもに軸足を置いた環境から
は、心地よさと絆を感じます。



先生が管理せずとも、子どもたち同士で秩序が保たれていました。

子どもたちが自ら選べる環境
があるから。

子どもの発達にあわせた環
境設定や大人の見守りがある
というのも素敵なことです
が、外遊びや室内遊びも含め
て子ども自身が自ら選択でき
るという環境が何よりも大切
なのだを教えて頂く機会とな
りました。

改定された指針には、「環
境を通じて」という言葉が何
度も出てきていますが、目
に見える物的環境や人的環境
だけでなく、保育そのものの仕
組みを省みる先生方からは、
子どもに軸足を置き続ける強
い思いを感じました。

臥竜塾年間講座①

東京都にある新宿せいがい子
ども園で毎年行われている
「臥竜塾年間講座」では、今
年度は「幼児期の終わりまで
に育ってほしい10の姿」（以
下、10の姿）のテーマのもと、
「10の姿」の項目を毎月1項
目ずつ掘り下げ学んでいきま
す。

その背景としては、今回の
保育所保育指針等の三法令改
定に伴い、三法令共通の内容
として、幼児教育で育みたい
3つの資質・能力と幼児期の
終わりまでに育ってほしい姿
があり、この理解を深めてい
くためにテーマが設定されま

した。

3法令の解説書の中に「10
の姿」の具体的な事例があり
ますが、一事例として、新宿
せいがい子ども園での保育実践
を元に、子どもたちの写真や
動画をを用いて、全国から講座
に参加した先生方と学びを深
めていきました。今回は第1
回目ということで「健康な心
と体」について学び、今回の
講座では今回学んだ「健康な
心と体」についての写真を各
園から持ち寄り、ディスカッ
ションを行う予定です。

1年間かけて、私たちも学
んでいきたいと思います。

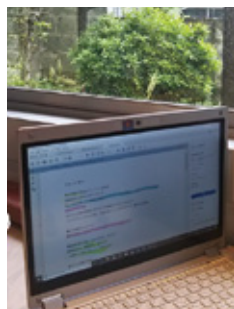


今回は初回の講座という事で、子どもの権利条約の
「意見の表明権」をテーマに写真を持ち寄り、どの写真が一番
「意見の表明」をしているかをディスカッションして決めました。
次回から「10の姿」に沿った写真を項目ごとに持ち寄ります。

【写真の背景】

2歳児クラスの朝のお集り。
先生が絵本を読んでいる場面ですが、右にいる子は
読んでもらいたい絵本を読んでもらえず、その気持ちを
言葉で言えずに行動で「ここに執着がある」と居座る形で
気持ちを表している写真。

カグヤでは、クルー同士別々の場所においてもお互いの気持ちや様子が共有できるよう「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して日々の実践をご紹介します。



【話し合いでのメモ】
本人の成長や挑戦は勿論、個性&その人らしさが光る印象深いエピソードなど…皆で話し合っていきます！

社内ではクルーの誕生祝いに一年の成長や挑戦を写真と共に「ハッピーポートフォリオ」というアルバムにまとめ贈っています。もう9年目の実践ですが、内容は勿論、制作の進め方なども改善し続けており、先日も制作前の話し合いについて「他の仕事が気になり集中しづらい。業務

皆で改善する風土

的になって楽しめない。」など声があったので、仕事っぽくしないよう、皆でランチに合わせ近くのカフェへと場所を移し話し合ってみることに。すると集中しやすく心も開放的に話しかけでき、改めて環境を見直す大切さを実感！やり方に正解はないので、これまでのやり方にとらわれず、その都度、理念や目的から皆で改善する風土を大事にできたらと思います。



かつて誕生日に各クルーから本人へ手紙を渡していたのが今のアルバムへ進化…



勤務時間外で制作することも多かったため、働き方も見直し中です！

環境改善模様替え



会社っぽくない＝KPSプロジェクト始動！

突然ですが、カグヤの女子たちが、オフィスの模様替えをしようと動き始めました！というのも一昨年前から福岡県にある古民家『聴福庵』での再生をはじめてから、働き方も環境も徐々に家族や一家にスイッチしてきたことで、これまでのオフィスっぽい雰囲気や今の自分たちの働き方に合わなくなってきた気がしたからです。それにオフィスっぽさがそうさせるのか、デスクの上にはいつも書類のごちゃ溜まり…。自



デスクにはいつも書類の山がいくつも連なり、花瓶の花も悲しそう…。

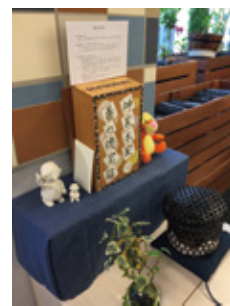


はりきって現場検証。大物家具も大移動させる気概で取り組んでいます！

これまでの環境を変えるのは簡単なことではありませんが、まずは出来ることから行動するということが大事なのだと感じます。大変だからと諦めることなく、みんなを巻き込んで働きやすい環境を目指し、一緒に変えていこうと思います。

作業からの改善

社内でも「楽しそう！やってみよう！」と思って始めた取り組みも、時間が経ち改善しないまま続いているとただの『作業』になってしまうことがあります。やはり定期的な振り返りと改善が必要と感じ、まずは3年ほど継続している『徳の宝』について話し合いました。毎月投票用紙を配り記入を促す声掛けをしていましたが、「形式にとらわれて日常に溢れている徳が埋もれたらもった



今までのA4サイズの下紙から、投票箱左側のメモ用紙へ変更を。大事なところはそのままに、より身近に感じられる環境設定のため試行錯誤中です。

いない！」という意見から、自ら気軽に投票できるよう、手に取りやすくシンプルで小さい用紙へと変更。まだまだ改善途中で失敗する時もありますが、ときめき続ける取り組みを目指して、時には形にとらわれず思い切って改良することを忘れずにいたいと思います。

自然との調和

一期一会庵

先日、千葉県香取市にある農業を問わず耕さない自然の田んぼで会社の人々と一緒に今年も田植えを行いました。昨年は無事に60俵ほど収穫でき、会社の家族で一年間食べても余りあるほどのです。

かつて日本の思想家に安藤昌益という人物がおり、著書に「直耕」という考え方に言及しているものがあります。この「直耕」とは、自ら「直接」大地を耕し、自然から「直接」生きる糧を得ることを指します。

私たちは保育の志事をするからこそ、自分たちの世代のことだけではなく何世代も先のことを考えて経済活動をしていきたいという思いがあります。実際には理想はあるけれど「とはいえ」という現実との折り合いは誰しもつけ難いものです。しかし、

理念や初心を省みて「何のために私たちは働くのか」と向き合い本質を追い続けていたら少しずつ近づいて

【編集後記】

今月もご覧頂きありがとうございました。ここ数日は気温差が激しくなっています。体調管理には充分気を付けてお過ごし下さいませ。

カグヤは「子ども第一義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます